

## 第2回「特定不妊治療費助成事業の効果的・効率的な運用に関する検討会」

### 議 事 次 第

1. 日 時 平成 18年11月30日 (木) 17:00～19:00
2. 場 所 厚生労働省16階 専用第17会議室
3. 議 事
  - (1) 特定不妊治療費助成事業の効果的・効率的な運用に係る課題の検討について
    - ① 課題(1)「本事業の全国的な実績・成果の把握について」
    - ② 課題(2)「本事業の実施医療機関における設備・人員等の指定要件について」
    - ③ 追加課題「本事業の助成対象の範囲について」
  - (2) その他

#### 4. 配付資料

- 資料1 本事業の全国的な実績・成果の把握について
- 資料2 日本産科婦人科学会 個別調査票の登録ページ
- 資料3 日本産科婦人科学会 個別調査票の登録ページ ダウンロード版
- 資料4 本事業の実施医療機関における設備・人員等の指定要件について
- 資料5 特定不妊治療費助成事業の助成対象の適正化に係る考え方

参考 第1回検討会資料ファイル

別冊 日本産科婦人科学会雑誌第58巻第8号「倫理的に注意すべき事項に関する見解」

## 特定不妊治療費助成事業の全国的な実績・成果の把握について

現在、ほとんどの都道府県・指定都市・中核市(以下、「都道府県等」という。)で集計されているのは、受給者の人数、給付金額といった項目のみである。

今後は、受給者の人数、給付金額に加え、本事業の実績・成果について、以下に示す方法で把握を行うのはどうか。

### 事業の実績・成果の把握方法

#### 1. (案1) 医療機関→患者→都道府県等→国

- (1) 本事業の実施医療機関の責任者は、各施設で不妊治療を行った本事業の受給者の不妊治療後の経過を把握し、治療終了後、および妊娠した場合は妊娠終了(分娩、流産等)後に、その結果を日本産科婦人科学会の個別調査票登録システムの登録ページ(資料2)に登録する。
- (2) 実施医療機関は、治療終了後に個別調査票(治療から妊娠まで)の登録ページをプリントアウトしたものを特定不妊治療費助成事業受診等証明書に代えて患者に渡し、患者はこれを助成金申請時に都道府県等に提出する。
- (3) 申請を受けた都道府県等は、個別調査票(治療から妊娠まで)の登録ページから、各患者の患者識別番号を控えておく。
- (4) 年度末に、本事業の実施医療機関は、個別調査表登録ページをエクセル形式でダウンロードしたもの(資料3-①)を、指定を受けている都道府県等に送る。
- (5) 都道府県等は、各医療機関から送られた個別調査票を確認し、手元にある患者識別番号と照らし合わせることで、各都道府県で給付を受けた患者の不妊治療後の経過を確認する。
- (6) 各都道府県等は、その結果を集計し、国に報告する。
- (7) 国は各都道府県等からの情報を取りまとめ、分析すると共に、集計した全国データを厚生労働省のホームページに掲載する。

#### 2. (案2) 医療機関→都道府県等→国

- (1) 本事業の実施医療機関は、各施設で不妊治療を行った本事業の受給者の不妊治療後の経過を把握し、治療終了後および妊娠した場合は妊娠終了(分娩、流産等)後に、その結果を日本産科婦人科学会の個別調査票登録システムの登録ページ(資料2)に登録する。
- (2) 実施医療機関は、同登録ページをエクセル形式でダウンロードし、「受給者の属する都道府県等」の項目を加え(資料3-②)、指定を受けている都道府県等に送る。
- (3) 都道府県等は、各自必要に応じてその結果を集計し、集計した場合その結果と、エクセル表のデータを国に送る。

(4)国は各都道府県等からの情報を取りまとめ、分析すると共に、集計した全国データを厚生労働省のホームページに掲載する。

\* 平成 19 年度内は上記の方法で対応するが、平成 20 年度以降の対応については、より効率的な方法がないか、今後更に検討する予定である。

#### (参考)現状

本事業では、下のような流れで受給申請を行っている。

(1)医師の判断により、特定不妊治療の開始

(2)治療の終了(中断)

(3)受給申請

→原則として、治療が終了した日の属する年度内に居住地を管轄する保健所を経由して都道府県等長に申請する。

(提出書類)

- ・ 特定不妊治療費助成事業申請書
- ・ 特定不妊治療費助成事業受診等証明書(医療機関発行の領収書を添付)  
(資料1別添)
- ・ 法律上の婚姻をしている夫婦であることを証明できる書類(戸籍謄本等)夫及び妻の所得額を証明する書類(源泉徴収票等)

(4)承認／不承認の審査・決定、申請者への通知

(5)個人口座へ助成金の振り込み

特定不妊治療費助成事業受診等証明書(資料1別添)には医療機関記入欄を設けており、そのなかで以下の項目について医師が記入することとなっている。

- ・ 当該患者が過去に行った不妊治療について
- ・ 特定不妊治療を必要とした理由について
- ・ 今回の治療方法、治療内容及びその経過
- ・ 今回の治療期間

これらの項目は、本事業の対象者の要件である「特定不妊治療以外の治療法によっては妊娠の見込みがないか又は極めて少ない」ということの確認のために調査しており、これらの情報は集計していない都道府県等が多いのが現状である。

受給者番号					
-------	--	--	--	--	--

医療機関発行の領収書添付箇所

(裏面添付又は別添可)

特定不妊治療費助成事業受診等証明書

下記の者については、特定不妊治療以外の治療法によっては妊娠の見込みがないか又は極めて少ないと思われるため、特定不妊治療を実施し、これに係る医療費を下記の通り徴収したことを証明します。

平成 年 月 日

医療機関の名称及び所在地  
主治医氏名

印

医療機関記入欄 (主治医が記入すること)

(ふりがな) 受診者氏名	夫	( )	妻	( )
受診者生年月日		昭和 平成 年 月 日 ( 歳)		昭和 平成 年 月 日 ( 歳)
<p>○当該患者が過去に行った不妊治療について該当箇所に記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイミング療法 (実施 ( 回) ・未実施)</li> <li>・排卵誘発法 (実施 ( 回) ・未実施)</li> <li>・人工授精 (実施 ( 回) ・未実施)</li> <li>・体外受精 (実施 ( 回) ・未実施)</li> <li>・顕微授精 (実施 ( 回) ・未実施)</li> <li>・手術療法 (実施・未実施) (手術方法 )</li> <li>・その他 ( )</li> </ul> <p>○特定不妊治療を必要とした理由について記入して下さい。</p>				
今回の治療方法	( 1. 体外受精 2. 顕微授精 ) 該当する番号に○を付けてください			
今回の治療期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日			
○今回の治療内容について記入して下さい。(※)				
領収年月日	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日			
	領収金額			円

(※) 治療を中断した場合は、その経過についても記入して下さい。

【メニューに戻る】

## ART / 2005年個別調査票(治療から妊娠まで)

UMIN ID:nakai-jsog / 施設名:日本産科婦人科学会事務局 / Authority:Administrator

  この色の項目は、空欄では登録が完了しません。[必須入力]

2005年データ	999999 日本産科婦人科学会事務局
----------	---------------------

患者識別No.(必須)	
治療周期開始時の満年齢(必須)	歳
適応(必須)	<input type="checkbox"/> 1卵管因子 <input type="checkbox"/> 2子宮内膜症 <input type="checkbox"/> 3抗精子抗体陽性 <input type="checkbox"/> 4男性 <input type="checkbox"/> 5原因不明 <input type="checkbox"/> 6その他
卵巣刺激法 <input type="button" value="clear"/>	<input type="radio"/> 1自然 <input type="radio"/> 2CC <input type="radio"/> 3 CC + hMG or FSH <input type="radio"/> 4 hMG <input type="radio"/> 5 GnRHagonist + hMG or FSH <input type="radio"/> 6 GnRHantagonist + hMG or F <input type="radio"/> 7その他
採卵法(必須)	<input type="radio"/> 1採卵に至らず <input type="radio"/> 2経膈超音波 <input type="radio"/> 3腹腔鏡 <input type="radio"/> 4凍結保存胚・卵の融解 <input type="radio"/> 5その他 ※ [1 採卵に至らず] を選択した場合は【治療に用いた卵・胚の種類】以降の項目は必要ありません。 入力した値は自動的に削除されますのでご注意ください。
治療に用いた卵・胚の種類 <input type="button" value="clear"/>	<input type="radio"/> 1新鮮卵・胚 <input type="radio"/> 2凍結胚 <input type="radio"/> 3凍結卵
治療方法 <input type="button" value="clear"/>	<input type="radio"/> 1IVF-ET <input type="radio"/> 2GIFT <input type="radio"/> 3顕微授精 <input type="radio"/> 4 IVF-ET + 顕微授精 <input type="radio"/> 5融解胚 <input type="radio"/> 6その他
Assisted hatching <input type="button" value="clear"/>	<input type="radio"/> 1施行 <input type="radio"/> 2非施行
精子回収法 <input type="button" value="clear"/>	<input type="radio"/> 1射出精子 <input type="radio"/> 2Testicular sperm extraction (TESE) <input type="radio"/> 3その他
精液所見	※【精子回収法】で[1 射出精子]を選択した場合のみ入力してください。 精子濃度 <input type="text"/> × 10 <sup>6</sup> /ml (小数点以下第2位まで) 運動精子率 <input type="text"/> % (整数)
以下の2項目は、【治療に用いた卵・胚の種類】で [1 新鮮卵・胚] を選択した場合に入力が必要です	

採卵数	(整数)
受精卵数	(整数)
--- 以下の1項目は、【治療に用いた卵・胚の種類】で [2凍結胚] を選択した場合に入力が必要です ---	
融解胚数	(整数)
--- 以下の2項目は、【治療に用いた卵・胚の種類】で [3凍結卵] を選択した場合に入力が必要です ---	
融解卵数	(整数)
受精卵数	(整数)
--- 以下の6項目は、【治療に用いた卵・胚の種類】で [1新鮮卵・胚][2凍結胚][3凍結卵] を選択した場合に入力が必要です ---	
胚移植時の発育段階 clear	<input type="radio"/> 1卵(未受精) <input type="radio"/> 2初期胚 <input type="radio"/> 3胞胚 <input type="radio"/> 4ETキャンセル <input type="radio"/> 5その他
移植胚・卵数	(整数)
凍結胚・卵数	(整数)
黄体期管理	<input type="checkbox"/> 1なし <input type="checkbox"/> 2プロゲステロン(P) <input type="checkbox"/> 3hCG <input type="checkbox"/> 4hCG + P <input type="checkbox"/> 5エストロゲン + P <input type="checkbox"/> 6その他
副作用の有無	<input type="checkbox"/> 1なし <input type="checkbox"/> 2出血 <input type="checkbox"/> 3感染 <input type="checkbox"/> 4OHSS(2度以上) <input type="checkbox"/> 5その他
妊娠の有無 clear	<input type="radio"/> 1なし <input type="radio"/> 2 臨床妊娠(GS(+))以上) (移植日：西暦    /    /

次へ進む

[【メニューに戻る】](#)

# ART /2005年個別調査票(妊娠から出産後まで)

UMIN ID:nakai-jsog /施設名:日本産科婦人科学会事務局 /Authority:Administrator

この色の項目は、空欄では登録が完了しません。[必須入力]

2005 年データ		999999 日本産科婦人科学会事務局	
患者識別No.	1111		
治療周期開始時の満年齢	33 歳		
妊娠の有無	○1なし ●2臨床妊娠(GS(+))以上 (移植日 : 2005/12/31 )		
GSの数 (必須)	○ 1 (整数) ○ 2不明		
確認された胎児数 (必須)	○ 1 (整数) ○ 2不明		
妊娠の転帰 (必須)	<input type="checkbox"/> 1 流産(22週未満) <input type="checkbox"/> 2 子宮外妊娠 <input type="checkbox"/> 3 内外同時 <input type="checkbox"/> 4 人工妊娠中絶 (理由 <input type="checkbox"/> 5 生産 <input type="checkbox"/> 6 死産 <input type="checkbox"/> 8 不明 <input type="checkbox"/> 7 減胎手術 ( 個から 個に減数) (整数)		
出産児数 <input type="text" value="clear"/>	※【妊娠の転帰】で [5 生産][6 死産]を選択した場合に入力が必 ○ 1 人 (整数) (出産日 : 西暦 / / ○ 2 不明		
分娩様式 <input type="text" value="clear"/>	○ 1 経膣 ○ 2 帝切 ○ 3 経膣および帝切 ○ 4 :		
産科合併症 <input type="text" value="clear"/>	○ 1 なし ○ 2 あり ○ 3 不明		

児の所見							
	性別	出生児の 在胎週数	出生時の 体重	児の状況			7日 未満
				生産 死産	一卵性 多胎	先天異常の状況	
1	○ 1男			○ 1生産	○ 1Yes		○ 1生存



clear	<input type="radio"/> 2女 <input type="radio"/> 3不明	<input type="radio"/> 1 週 <input type="radio"/> 2不明	<input type="radio"/> 1 g <input type="radio"/> 2不明	<input type="radio"/> 2死産 <input type="radio"/> 3不明	<input type="radio"/> 2No <input type="radio"/> 3不明	<input type="radio"/> 2死亡 <input type="radio"/> 3不明
2 clear	<input type="radio"/> 1男 <input type="radio"/> 2女 <input type="radio"/> 3不明	<input type="radio"/> 1 週 <input type="radio"/> 2不明	<input type="radio"/> 1 g <input type="radio"/> 2不明	<input type="radio"/> 1生産 <input type="radio"/> 2死産 <input type="radio"/> 3不明	<input type="radio"/> 1Yes <input type="radio"/> 2No <input type="radio"/> 3不明	<input type="radio"/> 1生存 <input type="radio"/> 2死亡 <input type="radio"/> 3不明
3 clear	<input type="radio"/> 1男 <input type="radio"/> 2女 <input type="radio"/> 3不明	<input type="radio"/> 1 週 <input type="radio"/> 2不明	<input type="radio"/> 1 g <input type="radio"/> 2不明	<input type="radio"/> 1生産 <input type="radio"/> 2死産 <input type="radio"/> 3不明	<input type="radio"/> 1Yes <input type="radio"/> 2No <input type="radio"/> 3不明	<input type="radio"/> 1生存 <input type="radio"/> 2死亡 <input type="radio"/> 3不明
4 clear	<input type="radio"/> 1男 <input type="radio"/> 2女 <input type="radio"/> 3不明	<input type="radio"/> 1 週 <input type="radio"/> 2不明	<input type="radio"/> 1 g <input type="radio"/> 2不明	<input type="radio"/> 1生産 <input type="radio"/> 2死産 <input type="radio"/> 3不明	<input type="radio"/> 1Yes <input type="radio"/> 2No <input type="radio"/> 3不明	<input type="radio"/> 1生存 <input type="radio"/> 2死亡 <input type="radio"/> 3不明

注: 出産児数に相当する数の児の所見を記入してください。

次へ進む

症例登録番号	登録施設名	施設コード	個別調査票(治療から妊娠まで)			最終更新者	治療開始年	患者識別No.	治療周期開始時の満年齢	適応	適応[6.その他]の詳細	卵巣刺激法	卵巣刺激法[7.その他]の詳細	採卵法
			新規登録日	新規登録者	最終更新日									
E0000545	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	35	6	続発性不妊	5		2
E0000546	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	37	2		5		2
E0000547	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	35	1		5		2
E0000548	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	30	1		5		2
E0000549	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	37	1		4		2
E0000550	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	41	6	内臓症+男性	4		2
E0000551	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	42	4		5		2
E0000552	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/8/25	hidesaitou-endo	2005	#	35	1		5		2
E0000553	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	39	6	卵管+男性	5		2
E0000554	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	41	4		5		2
E0000555	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	32	5		5		2
E0000556	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	44	5		5		2
E0000557	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	36	6	内臓症+卵管	5		2
E0000558	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/6/16	hidesaitou-endo	2005	#	38	5		5		2
E0000559	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	30	1		5		2
E0000560	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	37	5		5		2
E0000561	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	35	4		5		2
E0000562	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	42	5		5		2
E0000563	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	27	4		5		2
E0000564	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	43	4		5		2
E0000565	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	41	4		5		2
E0000566	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	42	5		5		2
E0000567	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	38	1		5		2
E0000568	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	45	5		5		2
E0000569	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/8/25	hidesaitou-endo	2005	#	40	4		5		2
E0000570	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	33	5		5		2
E0000571	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	37	4		5		2
E0000572	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	42	5		5		2
E0000573	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	33	4		5		2
E0000574	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	35	1		5		2
E0000575	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	44	5		5		2
E0000576	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	47	6	DM 高熱	1		2
E0000577	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	35	6	pick up障害	5		2
E0000578	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	36	1		5		2
E0000579	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	38	2		5		2
E0000580	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	39	2		5		2
E0000581	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	35	4		5		2
E0000582	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	38	5		1		2
E0000583	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	38	2		5		2
E0000600	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	34	5		5		2
E0000602	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	36	5		5		2
E0000604	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	37	5		5		2
E0000606	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	41	4		5		2
E0000607	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	34	1		5		2
E0000608	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	34	2		5		2
E0000610	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	35	6	続発性不妊	5		2
E0000616	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	38	1		1		2
E0000617	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	43	5		5		2
E0000618	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	35	1		5		2
E0000619	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	36	1		5		2
E0000620	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	42	4		5		2
E0000621	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	38	2		5		2
E0000623	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	38	2		5		2
E0000626	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	34	2		5		2

採卵法[5.その他]の詳細	治療に用いた卵・胚の種類	治療方法	治療方法[6.その他]の詳細	Assisted hatching	精子回収法	精子回収法[3.その他]の詳細	精子濃度	運動精子率	採卵数	受精卵数	融解胚数	融解卵数	受精卵数	胚移植時の発育段階
		1			2	1	80	45	6	2				5
		1			2	1	160	40	5	2				4
		1			2	1	25	48	10	10				3
		1			2	1	95	81	22	5				3
		1			2	1	91	48	7	6				2
		1			2	1	41	41	2	2				2
		1	3		2	1	153	29	9	2				2
		1	1		2	1	106	71	1	1				2
		1	4		2	1	162	20	3	3				2
		1	3		2	1	270	17	2	2				2
		1	1		2	1	148	74	2	2				2
		1	1		2	1	193	51	1	1				4
		1	1		2	1	12.5	47	20	12				3
		1	1		2	1	167	44	4	4				2
		1	1		2	1	159	34	7	5				2
		1	1		2	1	183	42	10	2				2
		1	1		2	1	43	67	14	2				4
		1	4		2	1	40	50	1	1				2
		1	3		2	1	1.6	6	9	3				2
		1	3		2	1	55	42	2	1				2
		1	3		2	1	75	15	2	1				2
		1	1		2	1	56	11	7	7				2
		1	1		2	1	250	54	2	2				2
		1	1		2	1	128	49	2	2				2
		1	1		2	1	69	18	1	1				2
		1	1		2	1	61	59	6	4				2
		1	3		2	1	14	19	8	4				2
		1	1		2	1	261	46	1	1				2
		1	3		2	3	射出精子 4.9×10 <sup>6</sup> 0.04%			21	4			2
		1	1		2	1	243	53	10	10				2
		1	1		2	1	35	34	3	1				2
		1	1		2	3	回収できず			0	0			4
		1	1		2	1	91	76	6	2				2
		1	1		2	1	63	65	7	5				2
		1	1		2	1	55	64	6	3				4
		1	4		2	1	114	30	4	4				2
		1	1		2	1	5.5	64	6	3				2
		1	3		2	1	122	11	1	0				4
		1	3		2	1	34	35	3	1				2
		1	1		2	1	74	55	1	1				3
		1	1		2	1	96	30	14	11				2
		1	1		2	1	21.4	67	10	5				2
		1	3		2	1	8.4	26	8	3				2
		1	3		2	1	165	79	5	2				2
		1	1		2	1	15	60	4	4				4
		1	1		2	3	凍結精子			11	9			2
		1	3		2	1	58	58	1	1				4
		1	1		2	1	109	68	1	1				2
		1	1		2	1	138	63	7	7				2
		1	1		2	1	90	44	19	12				2
		1	4		2	1	24	75	2	1				2
		1	1		2	1	115	56	2	2				2
		1	1		2	1	81	60	2	1				4
		1	1		2	1	89	76	7	5				2

胚移植時の発育段階[4.その他]の詳細	移植胚・卵数	凍結胚・卵数	黄体期管理	黄体期管理[6.その他]の詳細	副作用の有無	副作用の有無[5.その他]の詳細	妊娠の有無	妊娠の有無[2.移植日]	個別調査票(妊娠から出産後まで)				GSの数	
									新規登録日	新規登録者	最終更新日	最終更新者		
初期胚+胞胚	2	0	3:5		1		1							
	0	0		1	1		1							
	2	3	3:5		1		1							
	2	2	3:5		1		1							
	2	0	3:5		1		1							
	1	0		3	1		1							
初期	2	0	3:5		1		1							
	1	0	3:5		1		1							
	2	0	3:5		1		1							
	2	0	3:5		1		1							
	1	0	3:5		1		1							
	0	0		1	1		1							
	2	10	3:5		1		1							
	2	2	3:5		1		2	2005/2/22	2006/6/16	hidesaitou-endo	2006/7/10	hidesaitou-endo		1
	2	2	3:5		1		2	2005/2/26	2006/6/26	hidesaitou-endo				1
	2	0	3:5		1		1							
	0	0		1	1		1							
	1	0	3:5		1		1							
	3	0	3:5		1		1							
	1	0	3:5		1		1							
	2	0	3:5		1		1							
	2	5	3:5		1		1							
	2	0	3:5		1		1							
	2	0	3:5		1		1							
	1	0		3	1		1							
	2	0	3:5		1		1							
	2	2		5	1		1							
	1	0	3:5		1		2	2005/3/23	2006/6/26	hidesaitou-endo				1
	3	0	3:5		1		1							
	2	7	3:5		1		2	2005/3/29	2006/6/26	hidesaitou-endo				1
	1	0	3:5		1		1							
	0	0		1	1		1							
	2	0	3:5		1		1							
	2	0	3:5		1		1							
	0	0		1	1		1							
	2	0	3:5		1		1							
	0	0		1	1		1							
	1	0	3:5		1		1							
	2	7	3:5		1		2	2005/5/1	2006/6/26	hidesaitou-endo	2006/7/10	hidesaitou-endo		1
	2	0	3:5		1		1							
	2	0	3:5		1		1							
	2	2	3:5		1		1							
	0	0		1	1		1							
	2	7	3:5		1		1							
	0	0		1	1		1							
	1	0	3:5		1		1							
	2	3	3:5		1		1							
	2	8	3:5		1		1							
	1	0		3	1		1							
	2	0	3:5		1		1							
	0	0		1	1		1							
	2	2	3:5		1		1							

GSの数(数値入力)	確認された胎児数	確認された胎児数(数値入力)	妊娠の転帰	妊娠の転機[4.人工妊娠中絶]の詳細	妊娠の転機[7.減胎手術]の詳細(個か)	妊娠の転機[7.減胎手術]の詳細(個に減)	出産児数	出産児数(数値入力)	出産児数[出産日]	分娩様式
1	1	1	5				1	1	2005/11/11	1
1	1	1	5				1	1	2005/11/10	1
1	1	1	5				1	1	2005/12/9	2
2	1	2	1							
1	1	1	5				1	1	2005/1/25	1



症例登録番号	登録施設名	施設コード	個別調査票(治療から妊娠まで)				治療開始年	患者識別No.	治療周期開始時の満年齢	適応	適応[6.その他]の詳細	卵巣刺激法	卵巣刺激法[7.その他]の詳細
			新規登録日	新規登録者	最終更新日	最終更新者							
E0000545	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	35	6	続発性不妊	5	
E0000546	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	37	2		5	
E0000547	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	35	1		5	
E0000548	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	30	1		5	
E0000549	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	37	1		4	
E0000550	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	41	6	内臓症+男性	4	
E0000551	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	42	4		5	
E0000552	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/8/25	hidesaitou-endo	2005	#	35	1		5	
E0000553	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	39	6	卵管+男性	5	
E0000554	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	41	4		5	
E0000555	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	32	5		5	
E0000556	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	44	5		5	
E0000557	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	36	6	内臓症+卵管	5	
E0000558	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/6/16	hidesaitou-endo	2005	#	38	5		5	
E0000559	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	30	1		5	
E0000560	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	37	5		5	
E0000561	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	35	4		5	
E0000562	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	42	5		5	
E0000563	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	27	4		5	
E0000564	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	43	4		5	
E0000565	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	41	4		5	
E0000566	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	42	5		5	
E0000567	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	38	1		5	
E0000568	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	45	5		5	
E0000569	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/8/25	hidesaitou-endo	2005	#	40	4		5	
E0000570	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	33	5		5	
E0000571	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	37	4		5	
E0000572	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	42	5		5	
E0000573	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	33	4		5	
E0000574	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo	2006/7/25	hidesaitou-endo	2005	#	35	1		5	
E0000575	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	44	5		5	
E0000576	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	47	6	DM 高熱	1	
E0000577	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	35	6	pick up障害	5	
E0000578	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	36	1		5	
E0000579	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	38	2		5	
E0000580	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	39	2		5	
E0000581	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	35	4		5	
E0000582	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	38	5		1	
E0000583	国立成育医療センター	130069	2006/6/5	hidesaitou-endo			2005	#	38	2		5	
E0000600	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	34	5		5	
E0000602	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	36	5		5	
E0000604	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	37	5		5	
E0000606	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	41	4		5	
E0000607	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	34	1		5	
E0000608	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	34	2		5	
E0000610	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	35	6	続発性不妊	5	
E0000616	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	38	1		1	
E0000617	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	43	5		5	
E0000618	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	35	1		5	
E0000619	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	36	1		5	
E0000620	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	42	4		5	
E0000621	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	38	2		5	
E0000623	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	38	2		5	
E0000626	国立成育医療センター	130069	2006/6/6	hidesaitou-endo			2005	#	34	2		5	

採卵法	採卵法[5.その他]の詳細	治療に用いた卵・胚の種類	治療方法	治療方法[6.その他]の詳細	Assisted hatching	精子回収法	精子回収法[3.その他]の詳細	精子濃度	運動精子率	採卵数	受精卵数	融解胚数	融解卵数	受精卵数	胚移植時の発育段階
2		1	1		2	1		80	45	6	2				5
2		1	1		2	1		160	40	5	2				4
2		1	1		2	1		25	48	10	10				3
2		1	1		2	1		95	81	22	5				3
2		1	1		2	1		91	48	7	6				2
2		1	3		2	1		41	41	2	2				2
2		1	1		2	1		153	29	9	2				2
2		1	1		2	1		106	71	1	1				2
2		1	4		2	1		162	20	3	3				2
2		1	3		2	1		270	17	2	2				2
2		1	1		2	1		148	74	2	2				2
2		1	1		2	1		193	51	1	1				4
2		1	1		2	1		12.5	47	20	12				3
2		1	1		2	1		167	44	4	4				2
2		1	1		2	1		159	34	7	5				2
2		1	1		2	1		183	42	10	2				2
2		1	4		2	1		43	67	14	2				4
2		1	1		2	1		40	50	1	1				2
2		1	3		2	1		1.6	6	9	3				2
2		1	3		2	1		55	42	2	1				2
2		1	3		2	1		75	15	2	1				2
2		1	1		2	1		56	11	7	7				2
2		1	1		2	1		250	54	2	2				2
2		1	1		2	1		128	49	2	2				2
2		1	1		2	1		69	18	1	1				2
2		1	1		2	1		61	59	6	4				2
2		1	3		2	1		14	19	8	4				2
2		1	1		2	1		261	46	1	1				2
2		1	3		2		3 射出精子 4.9×10*6 0.04%			21	4				2
2		1	1		2	1		243	53	10	10				2
2		1	1		2	1		35	34	3	1				2
2		1	1		2		3 回収できず			0	0				4
2		1	1		2	1		91	76	6	2				2
2		1	1		2	1		63	65	7	5				2
2		1	4		2	1		55	64	6	3				4
2		1	1		2	1		114	30	4	4				2
2		1	3		2	1		5.5	64	6	3				2
2		1	3		2	1		122	11	1	0				4
2		1	1		2	1		34	35	3	1				2
2		1	1		2	1		74	55	1	1				3
2		1	1		2	1		96	30	14	11				2
2		1	3		2	1		21.4	67	10	5				2
2		1	3		2	1		8.4	26	8	3				2
2		1	1		2	1		165	79	5	2				2
2		1	1		2	1		15	60	4	4				4
2		1	3		2		3 凍結精子			11	9				2
2		1	1		2	1		58	58	1	1				4
2		1	1		2	1		109	68	1	1				2
2		1	1		2	1		138	63	7	7				2
2		1	4		2	1		90	44	19	12				2
2		1	1		2	1		24	75	2	1				2
2		1	1		2	1		115	56	2	2				2
2		1	1		2	1		81	60	2	1				4
2		1	1		2	1		89	76	7	5				2



胚移植時の発育段階[4.その他]の詳細	移植胚・卵数	凍結胚・卵数	黄体期管理	黄体期管理[6.その他]の詳細	副作用の有無	副作用の有無[5.その他]の詳細	妊娠の有無	妊娠の有無[2.移植日]	個別調査票(妊娠から出産後まで)				GSの数	
									新規登録日	新規登録者	最終更新日	最終更新者		
初期胚+胞胚	2	0	3:5		1		1							
	0	0		1		1	1							
	2	3	3:5			1	1							
	2	2	3:5			1	1							
	2	0	3:5			1	1							
	1	0		3		1	1							
初期	2	0	3:5			1	1							
	1	0	3:5			1	1							
	2	0	3:5			1	1							
	2	0	3:5			1	1							
	1	0	3:5			1	1							
	0	0		1		1	1							
	2	10	3:5			1	1							
	2	2	3:5			1	2	2005/2/22	2006/6/16	hidesaitou-endo	2006/7/10	hidesaitou-endo		1
	2	2	3:5			1	2	2005/2/26	2006/6/26	hidesaitou-endo				1
	2	0	3:5			1	1							
	0	0		1		1	1							
	1	0	3:5			1	1							
	3	0	3:5			1	1							
	1	0	3:5			1	1							
	2	0	3:5			1	1							
	2	5	3:5			1	1							
	2	0	3:5			1	1							
	2	0	3:5			1	1							
	1	0		3		1	1							
	2	0	3:5			1	1							
	2	2		5		1	1							
	1	0	3:5			1	2	2005/3/23	2006/6/26	hidesaitou-endo				1
	3	0	3:5			1	1							
	2	7	3:5			1	2	2005/3/29	2006/6/26	hidesaitou-endo				1
	1	0	3:5			1	1							
	0	0		1		1	1							
	2	0	3:5			1	1							
	2	0	3:5			1	1							
	0	0		1		1	1							
	2	0	3:5			1	1							
	2	0	3:5			1	1							
	0	0		1		1	1							
	1	0	3:5			1	1							
	1	0	3:5			1	1							
	2	7	3:5			1	2	2005/5/1	2006/6/26	hidesaitou-endo	2006/7/10	hidesaitou-endo		1
	2	0	3:5			1	1							
	2	0	3:5			1	1							
	2	2	3:5			1	1							
	0	0		1		1	1							
	2	7	3:5			1	1							
	0	0		1		1	1							
	1	0	3:5			1	1							
	2	3	3:5			1	1							
	2	8	3:5			1	1							
	1	0		3		1	1							
	2	0	3:5			1	1							
	0	0		1		1	1							
	2	2	3:5			1	1							





## 本事業の実施医療機関における設備・人員等の指定要件について

論点と考えられる項目

案	日本産科婦人科学会会告「生殖補助医療実施医療機関の登録と報告に関する見解」(平成18年4月23)(抄)	厚生労働科学研究補助金(子ども家庭総合研究事業)「生殖補助医療体系における設備、人的資源のガイドラインに関する研究」(抄)
<p>(1) 実施医療機関の具備すべき施設・設備要件</p> <p>①基準施設</p> <p>○採卵室・ ・採卵室の設計は、基本的に手術室仕様とする ・ ・ ○培養室 ・ ・手術着、帽子、マスク等 ・手洗い ・空気清浄機 ・ ○凍結保存設備 ・ ○ ○</p> <p>②その他の望ましい施設</p> <p>○採精室 ○カウンセリングルーム ○検査室</p>	<p>1. 生殖補助医療の実施登録施設の具備すべき要件と設備</p> <p>(3)登録施設の設備</p> <p>a)基準施設</p> <p>・採卵室 採卵室の設計は、基本的に手術室仕様とする。</p> <p>・培養室 培養室内では、基本的に手術着、帽子、マスク着用で手洗いを行う。培養室内は、エアフィルターを通した清浄空気を循環させる。</p> <p>・凍結保存設備</p> <p>b)その他の望ましい施設</p> <p>・移植室 ・採精室 ・カウンセリングルーム ・検査室</p>	<p>1. 必要最小の施設内容</p> <p><u>診療部門(産婦人科診療部門と兼用もありうる)</u> 診察室、処置室、採精室、採卵・胚移植室</p> <p><u>検査・培養部門</u> 培養室(含む培養前室)</p> <p>2. 望ましい施設内容</p> <p><u>診療部門(産婦人科診療部門より独立している)</u> 診察室、処置室、カウンセリング室、採精室、採卵・胚移植室</p> <p><u>検査・培養部門</u> 記録管理室、検査室、培養室(含む培養前室)、凍結保存室</p> <p>* 日本産科婦人科学会による「生殖補助医療の実施施設の具備すべき要件と設備」に適合するのは14.6%。</p> <p>* 培養室について、清浄度が手術室レベルの施設が45%、分娩室レベル以上とすると92%。</p> <p>* 採卵室について、分娩室レベル以上が91.3%。</p> <p>* 凍結保存設備をもつ施設は22%。</p> <p>* 専用採精室の設置は53.1%。</p>
<p>(2) 実施医療機関に必要な人員要件</p> <p>①必要不可欠な基準要員</p> <p>○実施責任者(1名) ○実施医師(1名以上、実施責任者と同一人でも可) ○看護師(1名以上) ・ ・</p> <p>②その他の望ましい要員</p> <p>○泌尿器科医師(精巣内精子生検採取法、精巣上体内精子吸引採取法等を実施する施設) ○胚培養士</p>	<p>(4)登録施設の要員</p> <p>a)必要不可欠な基準要員</p> <p>・実施責任者(1名) ・実施医師(1名以上、実施責任者と同一人でも可) ・看護師(1名以上)</p> <p>b)その他の望ましい要員</p> <p>・精巣内精子生検採取法(TESE)、精巣上体内精子吸引採取法等を実施する施設(MESA)等を実施する施設では、泌尿器科医師との連携が取れるようにしておく</p>	<p>○必要なもの</p> <p>・生殖補助医療を実施する医師 ・看護師</p> <p>○望ましいもの</p> <p>・胚培養士 ・コーディネーター ・カウンセラー</p>

<input type="radio"/> [Redacted] <input type="radio"/> カウンセラー	<p>ことが重要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配偶子、受精卵、胚の操作、取扱い、及び培養室、採精室、移植室などの施設、器具の準備、保守の一切を実際に行うARTに精通した高い倫理観をもつ技術者を有することが望ましい。</li> <li>・生殖医学、遺伝学の基礎的知識、ARTの基礎的知識および心理学・社会学に深い造詣を有し、臨床におけるカウンセリング経験を持ち、不妊患者夫婦を側面からサポートできるカウンセラーとの連携が望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 専属の不妊看護師が在籍している施設は04.27%。</li> <li>* 胚培養士が在籍している施設は76.1%。</li> <li>* 不妊カウンセラーが在籍している施設は41.5%。</li> <li>* 不妊コーディネーターが在籍している施設は32.9%。</li> </ul>
<p>(3) 実施責任者の要件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医であること</li> <li>○専門医取得後、不妊症診療に2年以上従事した者</li> <li>○日本産科婦人科学会の体外受精・胚移植に関する登録施設において1年以上勤務、又は1年以上研修を受け、体外受精・胚移植の技術を習得した者</li> <li>○常勤医師であること</li> <li>○ [Redacted]</li> </ul>	<p>2. 生殖補助医療の実施登録施設における実施責任者の要件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医であること</li> <li>(2) 専門医取得後、不妊症診療に2年以上従事した者</li> <li>(3) 日本産科婦人科学会の体外受精・胚移植に関する登録施設において1年以上勤務、又は1年以上研修を受け、体外受精・胚移植の技術を習得した者</li> </ol> <p>3. 生殖補助医療に関する登録申請にあたり留意すべき事項</p> <p>(2) 実施責任者及び実施医師</p> <p>a) 実施責任者は常勤医師でなければならない</p>	
<p>(4) 実施医師の要件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ [Redacted]</li> </ul>		
<p>(5) 実施医療機関の指定方法</p> <p>事業の実施に当たり、都道府県等の長は、上記の諸点に留意し、特定不妊治療を実施する医療機関として適当と認められるものを指定するものとする。また、その際には妊娠から出産に至る全ての課程において、適切な経過の把握が行える機関であることに留意すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ [Redacted]</li> <li>○ [Redacted]</li> </ul> <p>○ 倫理委員会を設置することが望ましい</p>	<p>3. 生殖補助医療に関する登録申請にあたり留意すべき事項</p> <p>(4) 倫理委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>a) 倫理委員会を設置することが望ましい。特にヒト精子・卵子・受精卵を取り扱う研究を実施する施設、並びに非配偶者間人工授精(AID)を実施する施設は倫理委員会を設置し、承認を得る。</li> <li>b) 倫理委員会は中立を保つため委員構成に配慮が必要であり、中立的な外部委員を複数入れることが望ましい。</li> <li>c) 倫理委員会委員長を施設責任者・実施責任者が兼ねることは望ましくない。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 倫理委員会は全施設中66.3%に設置。</li> </ul>

## 各資格の認定基準等

### 1. 日本看護協会不妊看護認定看護師

認定看護師とは、認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することを認められた者をいい、次の各項の役割を果たす。

1. 特定の看護分野において、個人、家族及び集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する。(実践)
2. 特定の看護分野において、看護実践を通して看護者に対し指導を行う。(指導)
3. 特定の看護分野において、看護者に対しコンサルテーションを行う。(相談)

#### ①受験資格

- 1) 日本国の保健師、助産師及び看護師のいずれかの免許を有すること。
- 2) 認定看護師として必要な実務経験があること。保健師、助産師及び看護師の資格取得後、実務経験が通算5年以上であること。そのうち通算3年以上は特定の認定看護分野の経験を有すること。
- 3) 日本看護協会が認定した『認定看護師教育課程』を修了していること。または、外国において上記と同等と認められる教育を修了していること

#### ②審査と認定

認定実行委員会は筆記試験を行い、最終的な審査結果を認定委員会に報告する。  
認定委員会は審議を行い、合格者を会長に報告する。

表 不妊看護認定看護師教育課程のカリキュラム

共通科目	90	専門基礎	90	専門科目	165	実習	255
情報処理	15	リプロダクティブヘルス／ ライツ	15	不妊看護概論	15	不妊相談	30
文献検索・文献購読	15	生殖の基礎知識	15	不妊看護の基礎理論	30	臨地実習	225
看護倫理	15	不妊症の診断と治療	45	不妊看護援助論Ⅰ	45		
教育・指導	15	不妊と社会	15	不妊看護援助論Ⅱ	15		
リーダーシップ	15			不妊看護カウンセリング技法	45		
コンサルテーション	15			不妊看護のマネジメント	15		
総時間数						600 時間	

\* 認定証の有効期間は交付の日から5年

\* 平成18年10月現在、不妊看護認定看護師は52人

## 2. 日本生殖医学会生殖医療指導医

生殖生理学、不妊症学、不育症学、臨床遺伝学、生殖倫理学などにつき、必要な知識、技能、態度が身に付いていることを到達目標とする。

### ①申請資格

- 1) 日本の医師免許を有する者
- 2) 産婦人科専門医あるいは泌尿器科専門医であり、専門医資格を得て3年以上の臨床経験がある者
- 3) 通算5年以上日本生殖医学会の会員である者
- 4) この法人が認める学術誌等で生殖に関連した10編以上の学術論文（共著可、ただしそのうち2編は筆頭著者）、およびこの法人あるいは関連学会で10回以上の演題発表（共同発表可、ただしそのうち2回は発表者）がある者
- 5) この法人が実施する生殖医療従事者講習会を受講している者
- 6) この法人が実施する生殖医療従事者資格に合格している者
- 7) 生殖医療専門医（指導医）として適切な知識、品位と倫理性を備えている者

### ②試験内容

- 一次試験：書類審査
- 二次試験：筆記試験及び口頭試問

### ③資格更新基準

5年毎に更新するものとする。また、更新に際しては、5年間に3回以上生殖医療従事者講習会を受講していることを条件とする。

\* 平成18年10月現在、生殖医療指導医は296人

### 3. 日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医

日本産科婦人科学会が指定する病院で5年以上産婦人科の臨床を研修し、同会で実施している専門医認定試験（筆記および面接試験）に合格した産婦人科医師をさす。さらに学術集会や研修プログラムへの参加、学会発表などによって日本産科婦人科学会の定める単位を取得し、常に産婦人科専門医として広い知識と高い水準の技能を備えていることが必要である。

#### 認定一次審査

##### ① 申請資格

専門医の認定申請ができる資格は、下記の1)、2)、3)の全ての条件を満たすものとする。

- 1) 我が国の医師免許を有する者
- 2) 通算5年以上本会の会員である者
- 3) 学会指定の卒後研修指導施設で、卒後研修目標に沿って通算5年以上の臨床研修を終了した者

##### ② 申請書類

- 1) 専門医認定申請書
- 2) 履歴書
- 3) 研修記録  
(実地経験目録、症例記録、参考資料として学会出席、発表、論文等の記録)
- 4) 研修証明書
- 5) 症例に関するレポート(3症例)
- 6) 申請者チェックリスト
- 7) 卒後研修目標・自己評価表
- 8) 医師免許証写し
- 9) 受験票

#### 認定二次審査

##### ③ 試験方法

筆記試験：120題程度のマークシート方式

面接試験：試験官による面接、研修記録、症例レポートなどにより評価。



## (参考1) 日本臨床エンブリオロジスト学会認定臨床エンブリオロジスト

### ①資格申請基準

- 1) 資格申請者は、本会の会員でなければならない。
- 2) 資格申請者は実際に生殖補助医療技術の職務に従事し、本会が実施するワークショップ（本会が認める学会および試験日に開催するワークショップも含む）に2回以上参加し、本会指定の修了証の交付を受けなければならない。認定には面接と筆記試験を受けなければならない。

### ②資格更新基準

認定臨床エンブリオロジストは最新の知識と技術に遅れをとらないため3年ごとに資格更新する。資格更新は当会会員でありかつ会費を納入している者に限る。以下に示す中から3年で60点以上を取得した者は、修了証(参加証)や抄録など本人参加を証明できるコピーを添付し、申請書と手数料5,000円を添えて、事務局に提出する。

- 60点 研究発表：本学会の雑誌のほか関連学会（日本産科婦人科学会・日本不妊学会・受精着床学会・哺乳動物卵子学会・日本医学検査学会・日本アンドロロジー学会および海外のもの）を含むいずれかの学会誌の筆頭著者。関連全国学会全国大会でのパネラー・指定演題以上の講演者。
- 50点 関連学会全国大会での一般演題発表者(ポスター発表も含む)
- 40点 関連学会支部大会、当学会が認める会での講演者、パネラー、演題発表者
- 30点 当会主催のワークショップ修了者
- 20点 関連学会全国大会と支部大会および当学会が認める会の参加者あるいはそれらの会における共同発表者及び当会のほか生殖関連学会誌の共同著者。

## (参考2) 哺乳動物卵子学会認定生殖補助医療管理胚培養士及び胚培養士

生殖補助医療管理胚培養士及び胚培養士資格制度は、生殖補助医療の進歩に応じ、必要かつ適切な知識、練磨された技能、高い倫理観と品位を備えた生殖補助医療管理胚培養士及び胚培養士の認定並びに生殖補助医療の領域における胚培養士の技術の向上と発展を促すことを目的とする。

### ①受験資格

- 1) 学会の会員であること

2) 次の各号のいずれかに該当すること

- ア) 大学の医学部、農学部、生物資源科学部、畜産学部、獣医学部、獣医畜産学部、生物理工学部、酪農学部、生物生産学部、生物産業学部、生物資源学部、農学生命科学部、薬学部、保健衛生学部、看護学部、医療医技術学部、保健医療学部、医療衛生学部もしくはこれらに準ずる機関において、生殖生物学、発生学及び生化学を修得した学士であること
  - イ) 学校教育法に規定する専修学校において、生物学及び生化学を修得した臨床検査技師または正看護師であること
  - ウ) 委員会が上記と同等以上であると判断した者であること
- 3) 委員会が主催する講習会を受講していること
- 4) 日本産科婦人科学会が認定する体外受精・胚移植およびGIFTの施設で、1年以上の臨床実務経験を有していること
- 5) 生殖補助医療に対する高い倫理観と品位を有していること
- 6) 学会及び関連する学会に最近1年以内に2回以上参加していること
- 関連学会とは日本産科婦人科学会、日本泌尿器科学会、日本不妊学会、日本受精着床学会、日本生殖免疫学会及び日本アンドロロジー学会の本大会を指し、地方部会は含まないものとする

②審査と認定

生殖補助医療胚培養士の資格認定審査は、年1回実施する。試験は、筆記試験及び面接試験とし、試験問題は委員会が作成する

③資格更新基準

生殖補助医療胚培養士の資格は5年毎に更新するものとする。資格の更新審査は委員会が行う。

生殖補助医療胚培養士資格の更新を申請する者は、次に掲げる全てを満たしていなければならない。

- 1) 学会の会員であること
  - 2) 日本産科婦人科学会の登録施設において、継続して生殖補助医療実務に携わっていること
  - 3) 学会及び関連する学会に最近5年以内に5回以上参加していること
- 関連学会とは日本産科婦人科学会、日本泌尿器科学会、日本不妊学会、日本受精着床学会、日本生殖免疫学会及び日本アンドロロジー学会の本大会を指す。なお、上記学会の地方部会で本人が筆頭で口頭発表した場合、また、学会誌、関連学会誌あるいは国際的な関連雑誌に筆頭で論文を発表した場合、学会及び関連する学会に参加した回数に加えることができる

## 特定不妊治療費助成事業の助成対象の適正化に係る検討について

### 1. 趣旨

助成金があるがために挙児の可能性の低い不妊治療を続けて健康を損ねる患者を減少させるとともに、限られた事業費用の効率的・効果的な使用に資するため、助成対象を一定範囲に限定することが可能かどうか、考え方を整理する。

### 2. 現行の助成範囲

#### (1) 対象となる治療

「体外受精、顕微授精」のみ規定している。

#### (2) 対象となる患者

「一定の所得制限のある法律婚の夫婦で、体外受精または顕微授精以外の治療法では挙児が望めない者」と規定している。

「支給期間は通算5年まで」であり、これまで受けた治療の延べ回数や、患者の年齢については規定なし。

### 3. 助成範囲にかかる検討

#### (1) 治療ステージによる制限

(1) 採卵準備中に治療中止したケース(別図のA～C)を対象外としてはどうか。

(2) 採卵を試みたが採卵できない場合(又は良好な卵が採卵できない場合)(別図のD)を対象外としてはどうか。

#### (2) 患者のこれまでの治療回数による制限

一人の患者(女性)につき、これまで受けた体外受精・顕微授精ののべ治療回数の上限を設けてはどうか。

#### (3) 患者の年齢による制限

一定年齢以上の患者(女性)を対象外としてはどうか。

別図 体外受精・顕微授精の治療ステージ

治療内容	採卵まで			採精(夫)	受精(前培養・媒精・培養)	妊娠						妊娠の確認(胚移植の2週間後)	助成対象の検討範囲	
	薬品投与(点鼻薬)	薬品投与(注射)	採卵			新鮮胚移植		胚凍結	凍結胚移植					
						胚移植	黄体期補充療法		(自然周期で行う場合もあり)	胚移植	黄体期補充療法			
平均所要日数	14日	10日	1日	1日	2~5日	1日	10日		7~10日	1日	10日	1日		
A	採卵準備中、体調不良等により治療中止(1)													[1]
B	採卵準備中、体調不良等により治療中止(2)													
C	卵胞が発育せず、中止													
D	採卵できず(状態のよい卵が採卵できず)中止													[2]
E	受精できず													対象とする
F	体調不良等により移植できず胚凍結し治療中断													
G	新鮮胚移植を実施													
H	凍結胚移植を実施*													
I	以前に凍結した胚を解凍して胚移植を実施													

(注) 現行では、A~Dも含めすべて助成対象としている。

\* 受精卵を凍結し、月経周期が戻るまで1~2周期間隔を開けてから(同じ年度内に)移植を行う場合を想定。